



Kohoku

仲馬倶楽部(新木)



住み替え
あびこナビ
保育園待機児童が40年ゼロの街

ようこそ、森・呼吸の似合う街へ

我孫子East

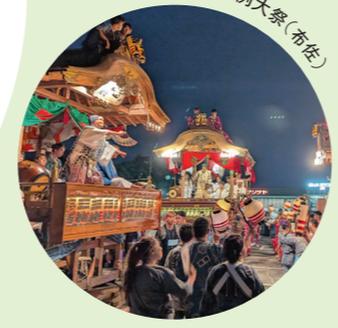
(あびこ)

こほく あらき ふさ
湖北・新木・布佐
~東部エリアは、笑顔になる+PLUSの魅力がいっぱい~

湖北中央公園(湖北)



竹内神社例大祭(布佐)



手賀沼 成田空港
Abiko
こちよ暮らし
千葉県



Araki



Fusa

★ 東部エリアで理想の暮らしをかなえた、小山さんファミリー ★

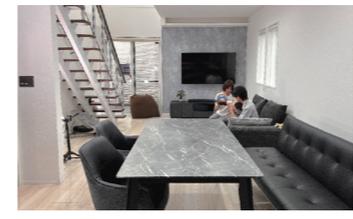
自然豊かな街に住み替えて、のびのび子育てを実現

我孫子の東部エリアを走るJR成田線沿線は、住宅街が多く暮らしやすいエリア。理想の家を手に入れたファミリーの、移住プロセスがうかがえました。

住み替え
VOICE



夫・激斗さん(31歳)と妻・沙織さん(30歳)はともに理学療法士。25年2月に第一子が誕生



**公園の多さにびっくり！
子育て世代に優しい、人の温かさがあります**

「南柏からの移住でしたが、我孫子は子育てに力を入れていると聞き、若い世代にはありがたいと感じました。湖北に住んでみて、比較的車の通りが少なく、のどかというか静かで子育てにとってもいい環境だと実感しています。自然が多く、子どもを遊ばせる公園もあるし、お祭りなどに行くと、お子さんがたくさん参加していて、子どもがいる家庭を迎え入れる雰囲気があるのをすごく感じます。湖北は、美味しい飲食店もいっぱいあり、住みやすい街だと思います」(激斗さん)

「我孫子市はLINE相談や支援センターなど子育てサポートが充実しているのも心強いです。助産師さんが無料で幼児学級をやってくれるのですが、こうしたサービスがありがたいですね。土地を見に行った時、家の近くに広い園庭のこども園を見つけたんです。保育園児でも幼稚園と同じシステムを受けられるこども園を希望していたので、ドンピシャ！ 小学校も近くにあるし、安心して子育てができそうです」(沙織さん)

充実した
子育て
支援

**子どもがすくすく育つよう
街全体で応援！**

妊娠期から乳幼児、小学校まで、子育ての小さなことでも気軽に相談できるサポート体制が整っています。

**放課後の子どもの遊び場
「あびっ子クラブ」**



市内13の全小学校に設置。年間2,000円で、サポーターと呼ばれる地域の人々に見守られながら過ごせます。習字や囲碁・将棋・ショートテニスなどにも挑戦できます。

**保護者と子どもの交流
「子育て支援センター」**



妊娠中から就学前までの子どもと保護者が集える、子育て支援センターが市内に4カ所あり、子育て相談やイベントなどを実施。保育園に設置の施設では、給食の試食会や園児との交流もあります。

柏 >>> 我孫子 小山さんファミリーの住み替えプロセス

2023年春	2023年夏	2024年9月
<p>仲介会社を通し「駅近の一軒家」をリサーチ</p> <p>ローンの返済を考えると若いうちに建てた方がいいと判断。駅から近く、こども園や小学校も近い、駐車場は2台分...など、住み替え先の条件を決めてリサーチを始めました。</p>	<p>“建てたい家”に合う土地を探し湖北に決定</p> <p>建てたい家のイメージがあったので、仲介会社にエリアと土地の希望条件を出して探してもらいました。湖北を紹介されて見に行ったら、住宅地がきれいで、こいいいな！と即決でした。</p>	<p>縦長の間取りで子どもに目が届く家が完成</p> <p>キッチンからダイニング、リビングまで一直線に抜ける、見通しのいい家を知り合いの工務店にお願いし、注文住宅で実現。日当たりもよく、理想の家になりました。</p>
	約3カ月後	約1年後



「住み替えVOICE」をチェック

市の魅力発信チャンネルでは、移住者の皆さんのインタビューを紹介

住み良さの満足度が、関東エリアで14位にランクイン 東部エリアなら、ゆとりある間取りのマイホームが実現できます

星野順一郎市長



日経BP社の「シティブランド・ランキング-住みよい街2025-」関東エリアで、本市は14位でした。この調査は働く世代を対象に、自分が住むまちの「住みよさ」について尋ねたものです。住民の「満足度」が向上し、高く評価していただき私も大変うれしく受け止めています。

市内に賑やかな繁華街などはありませんが、手賀沼や利根川の水辺に広い公園など、豊かな緑の環境は落ち着いた暮らしと子育てには、丁度いい、という声を良く聞きます。

市内の各校では、栄養士のいる自校方式で給食を提供。生産者の協力のもと、旬を生かしたメニューで食育に努めています。特に東部エリアでは、地元農家さんの協力もあり、「我孫子野菜の日」では、生産者の顔がわかる素材でまかっています。水田を借りて、農家と一緒に米の生産から食卓まで、食育にも力を入れています。

紙面で紹介した若い子育て世帯のように、希望通りのゆとりある間取りのマイホームを家計に無理なく実現できるのは、市内の東部エリアならではの大きなメリットです。さあ、家族の新たな1ページを市内東部エリアで始めませんか！



〈発行〉2026年3月
〈発行者〉我孫子市 企画総務部 秘書広報課
あびこの魅力発信室
TEL04-7185-2493
〈企画・制作〉
サンケイリビング新聞社